

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月～2024年3月)

神鋼鋼線工業株式会社
尼崎事業所



社会が前に進むために、
「なくてはならない価値」を
提供し続ける

目 次

ごあいさつ	2
I 環境経営方針	3
II 事業所の概要	4
III 環境経営目標とその実績及び推移	6
IV 環境経営計画の取組み内容	8
V 環境経営計画の取組み計画と評価	9
VI 環境関連法規制等の遵守状況	1 1
VII 代表者による全体評価と見直し	1 2

ごあいさつ

神鋼鋼線工業株式会社 尼崎事業所は、環境に配慮し、社会に貢献する企業として、従来からの環境経営活動をさらに積極的に展開すべく、環境省の推薦するエコアクション21への取組みを2006年4月に開始いたしました。その後、2007年6月に認証・登録を取得し、環境経営活動を展開しております。

さて、私たちの製品は、品種・用途が多岐にわたる線材2次加工製品であり、常にユーザーの視点に立って、ニーズに沿った高品質製品の提供と新技術・新用途の開発に努めています。また、先端技術分野の製品にも積極的に取組み、自動車関連製品やIT関連製品等ハイテク産業を支える製品を開発・製造しています。

自動車業界では、電気自動車へ舵を切る流れではあるものの未だ問題は山積しており、エンジン車が直ぐには取って代わられない中、ハイブリッド車を含む自動車エンジンの弁バネ、クラッチのダンパーバネ等に使用されるオイルテンパー線は超高強度化により車輛の軽量化、高燃費化に貢献し、二酸化炭素排出量削減に大きく貢献していると自負しております。

また、PC用製品を代表とする鋼材製品は、明石海峡大橋をはじめ、東京スカイツリー、大型ショッピングモールなど、橋梁及び建築構造物に広く用いられ、高強度・高耐食化による軽量化、長寿命化で二酸化炭素排出量削減並びに、資源使用の削減に貢献していると考えております。

近年、SDGsの重要性が認知されてきておりますが、弊社におきましてもホームページに“神鋼鋼線工業とSDGsのつながり”について掲載しておりますので、ご参照いただければと思います。

2023年度の活動内容をここにまとめましたので、ご覧頂きご指導いただければ幸いに存じます。

代表者 神鋼鋼線工業株式会社
尼崎事業所長 神保 鉄男

【Ⅰ】環境経営方針

環 境 経 営 方 針

神鋼鋼線工業株式会社

基 本 理 念

地球環境問題は、地球を次世代の子孫へより美しいものとして受け渡すために、解決しなければならない重要課題です。

当社は、P C 鋼線製品・エンジニアリング製品・ばね関連製品のリーディングカンパニーとして、市場拡大すると共に、安定した製品供給により、ステークホルダーから信頼を得ています。

これからの時代を生き残るためには、更に多くの顧客や、行政をはじめ地域住民の方々の信頼をいかに得るかが、重要な要素となっています。

当社では、『社会が前に進むために、「なくてはならない価値」を提供し続ける』を胸に、常に環境に配慮しながらE A 2 1に基づく環境経営システムを構築し、継続的改善を推進します。

環 境 経 営 方 針

1. 当社に適用される環境関連法規等を遵守します。
2. 当社製品・技術及びサービスに関する環境配慮に努めます。【重点取組項目】
3. 二酸化炭素排出量の削減に努めます。【重点取組項目】
4. 補助金の活用により、省エネ機能を強化します。
5. 水の使用量低減に努めます。
6. 廃棄物排出量の削減と再資源化に努めます。
7. 化学物質の適正管理及び使用量削減に努めます。
8. 6 S活動による安全で快適な職場環境を構築します。
9. 全従業員並びに常駐業者に対し、環境教育の推進、環境保全の意識向上及び徹底を図ります。
10. 環境経営方針は一般の人々が入手可能とします。
11. 環境経営方針を文書化し、実行し、維持します。

2023年 4月 1日改定

2006年 11月 1日制定

神鋼鋼線工業株式会社

尼崎事業所長 神保 鉄男

【Ⅱ】事業所の概要

(1) 事業者名及び代表者名

神鋼鋼線工業株式会社 尼崎事業所長 神保 鉄男

(2) 所在地

本社・尼崎事業所 〒660-0091 尼崎市中浜町 10 番地 1
東京支店 〒141-8688 東京都品川区北品川 5 丁目 9 番 12 号 ON ビル 7 階
大阪支店 〒541-0041 大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号淀屋橋スクエア 13 階
九州支店 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 1 番 1 号新幹線博多ビル 7 階
名古屋営業所 〒451-0045 名古屋市西区名駅 2 丁目 27 番 8 号名古屋プライムセントラルタワー
札幌営業所 〒060-0092 札幌市中央区北四条西 5 丁目 1 番地 3 日本生命北門館ビル
コウセンサービス株式会社 本社（以下、SWS という）
〒660-0092 尼崎市鶴町 7 番地 2

(3) 環境保全関係の責任者及び連絡先

環境管理責任者 黒岡 悟
TEL：06-6411-1071

(4) 事業活動（認証登録範囲）

PC 鋼材、PC 鋼材加工品、めっき鋼線・ばね用鋼線の製造、販売及び各種構造物の建設工事

(5) 事業の規模（2023 年度）

製品出荷額 1, 317, 070 万円／年（当事業所）
主要製品生産量 28, 372 トン／年（当事業所）
従業員 606 名（尾上事業所、二色浜事業所を除く）
延床面積 68, 763 m²

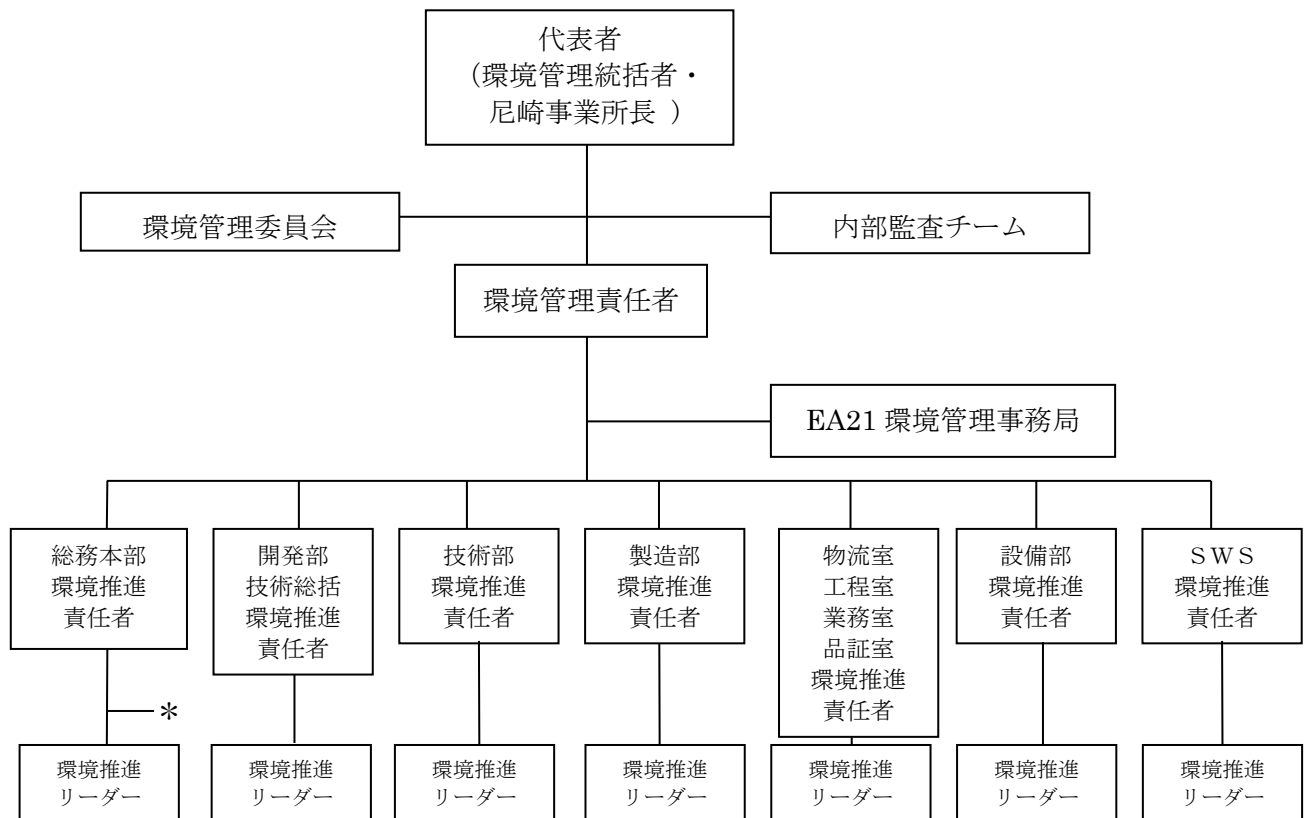
(6) 対象事業所及び従業員数（認証登録範囲、（ ）内は従業員数）

本社・尼崎事業所（433）、東京支店（50）、大阪支店（45）、九州支店（8）、
名古屋営業所（2）、名古屋営業室（4）、札幌営業所（2）、
コウセンサービス株式会社 本社（39）、神鋼名神ロジスティックス株式会社（23）

(7) 適用除外サイト（エコアクション 2.1 認証・登録済み）

尾上事業所、二色浜事業所

【環境経営システム組織図】



＊ ：支店、営業所（2010 年度適用範囲に含む。）

営業所：東京支店、大阪支店、九州支店、名古屋営業所、名古屋営業室、札幌営業所
 コウセンサービス㈱本社、神鋼名神ロジスティックス㈱

【 当事業所全景 】



【 環境設備 】



【Ⅲ】 環境経営目標とその実績及び推移

尼崎事業所における環境経営目標と実績は次の通りです。

評価については、以下となります。

○：目標達成 △：目標未達成だが昨年度実績から改善 ×：目標未達成

環境目標項目		単位	2022年度		2023年度			2024年度	2025年度	2026年度
			目標	実績	目標	実績	評価	目標	目標	目標
製品生産量		ton	—	28,315	—	28,372	—	—	—	—
二酸化炭素 ^{*1}	総排出量	kg-CO2	—	20,568,843	—	19,690,283	◎	—	前年度原単位比1%減	
	生産量当たり	kg-CO2/ t	707	726	719	694		687		
	達成率	%	100.0	97.3	100	103.6		100		
電力 ^{*2}	使用量	kWh	—	35,714,080	—	34,074,460	◎	—	前年度原単位比1%減	
	生産量当たり	kWh/t	1,239	1,261	1,249	1,201		1,189		
	達成率	%	100.0	98.3	100	104.0		100		
都市ガス	使用量	Nm3	—	2,477,479	—	2,306,244	◎	—	前年度原単位比1%減	
	生産量当たり	Nm3/t	82.8	87.5	86.6	81.3		80.5		
	達成率	%	100.0	94.6	100	106.6		100		
チャーター便 積載重量 ^{*3}	積載重量	t/台	6.58	6.96	6.63	6.64	◎	6.66	1台あたりの積載重量 前年度比 0.5%増	
	達成率	%	100.0	105.8	100	100.2		100		
上水	使用量	m3	—	23,462	—	23,306	×	—	前年度原単位比1%減	
	生産量当たり	m3/t	0.715	0.829	0.820	0.821		0.813		
	達成率	%	100.0	86.3	100	99.9		100		
廃棄物	総排出量	t	—	2,157	—	2,128	◎	—	前年度原単位比1%減	
	生産量当たり	t/t	0.074	0.0762	0.0754	0.0750		0.074		
	達成率	%	100.0	97.6	100	100.6		100		
化学物質	工具の再利用量 ^{*4}	個	1,200	760	1,200	407	×	1,200	1,200	1,200
	達成率	%	100.0	63.3	100	33.9		100	100	100

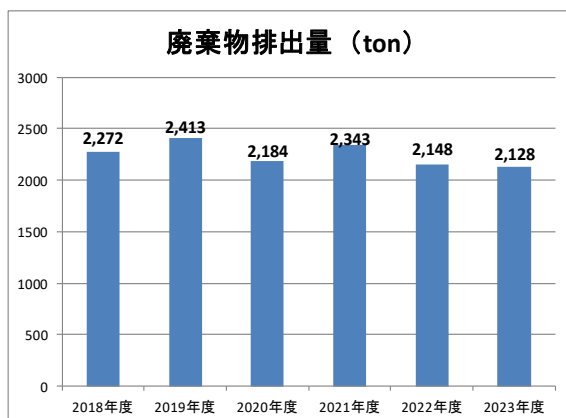
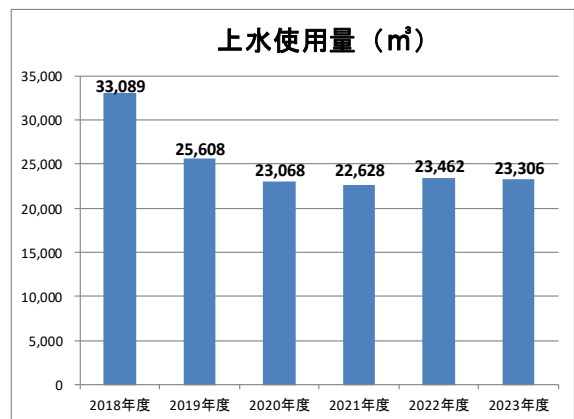
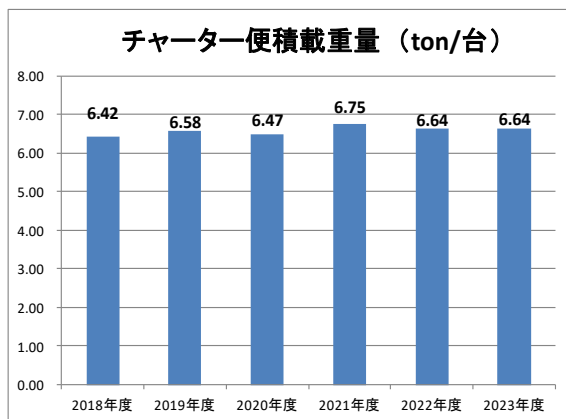
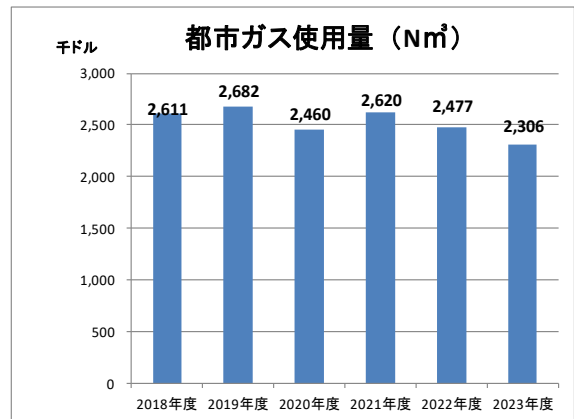
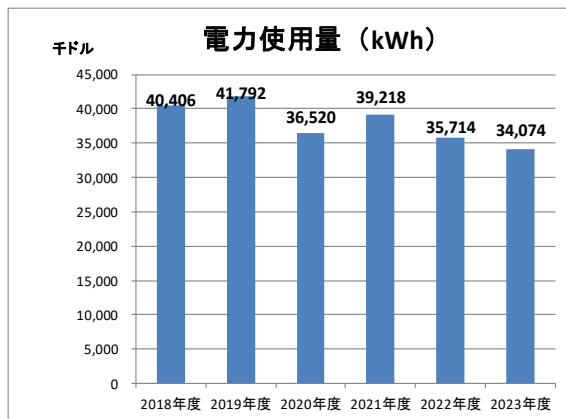
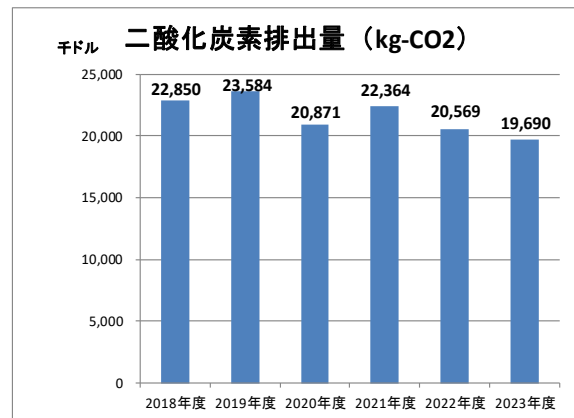
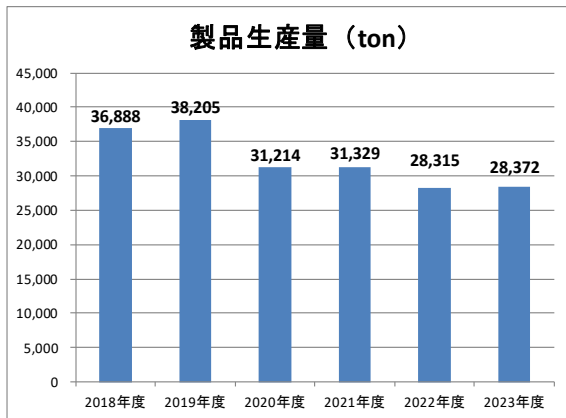
*1：電力のCO2排出係数は、調整後排出係数 0.418 kg-CO2/kWh を使用した。(関西電力：2017年度実績値)

*2：支店、営業所の使用電力は、1%未満および製造に関係しないため含まない。

*3：積載量を多くすることにより、チャーター便の数を少なくし、ガソリン使用量の使用量削減に繋がる。

*4：切削工具にはコバリットが含有しているため、再利用することで化学物質の使用量削減に繋がる。

*5 環境活動目標「自らが生産・販売・提供する製品の環境配慮」の活動目標は、省資源型製品の設計等であり、数値目標等はないため、
本表には記載なし。【V】4)項にて評価・報告。



【Ⅳ】環境経営計画の取組み内容

1) 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量を削減するため、電気・ガソリン・都市ガスの削減計画を立てました。

(1) 電力使用量の削減

年度削減目標：前年度比原単位 1 %削減

- 施策：① 工場照明管理、昼間消灯の徹底及び自動消灯装置の活用
② 事務所空調の温度管理、夏季室温 28℃以上、冬季 20℃以下に管理
③ 定期的な工場内のエアリーク点検・修理
④ 高効率設備への計画的更新（高効率変圧器の導入、照明の LED 化、高効率エアコンへの更新等）

(2) 車両燃料（ガソリン）の削減

年度削減目標：車両積載量を前年度比 0.5 % 向上

- 施策：① 積載率の向上（輸送の合理化、トラック大型化、合積み・納期統合等）
② アイドリングストップの励行

(3) 都市ガス（ボイラー燃料）の削減

年度削減目標：前年度比原単位 1 %削減

- 施策：① 蒸気漏れ点検・修理
② 蒸気使用設備の熱損失低減化

2) 水の使用量の削減

年度削減目標：前年度比原単位 1 %削減

- 施策：① 各上水使用箇所にメーター設置
② 生活用水の使用状況のチェック
③ 既設配管の漏れ点検・修理
④ 節水活動

3) 廃棄物排出量の削減

年度削減目標：前年度比原単位 1 %削減

- 施策：① 廃棄物置場の改善と分別回収の徹底
② 廃棄物の削減及び再資源化

4) 自らが生産・販売・提供する製品の環境配慮

- 施策：① 梱包資材の削減
② 金具梱包材の仕様変更

5) 化学物質の使用量削減

- 施策：① 使用化学物質の使用量削減
② 使用化学物質の再利用

6) 6 S活動によるきれいで快適な職場環境作り

- 施策：① 月1回以上の6 S活動の実施・報告
② 工場を11区分に分け6 S活動を展開し、半期ごとに評価・表彰

【V】環境経営計画の取組み計画と評価

2023年4月～2024年3月度の環境経営計画の評価は、下記の通りです。

環境経営計画の取組み及び計画的に高効率設備を導入しています。実施体制に変更はありません。

1) 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電力使用量の削減

- ① 設備の高効率化を推進しています。また、省エネ補助金制度を活用し、高効率変圧器への更新及び照明のLED化を継続して実施しています。
 - ② 不在時及び昼休み時の消灯の徹底を継続して実施しています。また、工場の一部に設定照度以上になると自動消灯する機器を設置しています。
 - ③ エアコン使用時の温度管理を冷房時28℃以上、暖房時20℃以下とし、毎日10時、14時に温度をチェック、記録することを継続して実施しています。
 - ④ 設備点検（エアー漏れ含む）を毎月実施し、不具合箇所を修理しています。
- 上記①～④は継続項目として次年度も継続実施予定です。

(2) 車両燃料の削減

- ① 輸送の合理化を推進し、チャーター便1台当たりの積載重量を増やす活動を継続して実施しています。次年度も実施予定です。

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
積載量(ton/台)	6.42	6.58	6.47	6.75	6.96	6.64

- ② アイドリングストップの看板を掲示し、意識付けを図っています。

(3) ボイラー燃料の削減

毎月、工場内の蒸気漏れ点検を行い、一覧表で管理し、不具合箇所を修理しています。次年度も継続実施予定です。



2) 上水の使用量の削減

各所にメーターを設置し、異常時に早期発見できる仕組みに改善しました。また、使用量が多かった開発棟の上水使用量を1ヶ月間毎日モニタリングし、当該部署と連携し、上水の使用削減に努めました。次年度も継続実施予定です。

3) 産業廃棄物の削減

産業廃棄物置場の表示改善と分別回収の徹底を行っています。
次年度も継続実施予定です。

年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
廃棄物排出量 (ton)	2,272	2,413	2,184	2,343	2,157	2,118

4) 自らが生産・販売・提供する製品の環境配慮

- ① 高強度品を開発し、環境負荷低減に貢献しています。
 - ② 製品の梱包材の簡素化及び軽量化に取組み、実績が上がっています。
- 次年度も継続実施予定です。

5) 内部監査

事務局を含む、全部門の内部監査を実施しています。また、営業所についても書面にて、内部監査を実施しています。指摘事項については、期限を定め是正・フォローしています。
次年度も継続実施予定です。

6) 化学物質使用量削減

コバルトを含有している切削工具の再利用を推進しており、化学物質使用量の削減に取り組んでいます。

年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
再利用量 (個)	1,501	1,143	1,164	760	407

7) 環境教育

- ① 6月の環境月間に合わせ、過去に発生した不具合事象のフォロー、環境パトロールを実施しています。
 - ② 環境重要設備の緊急事態を想定し、緊急事態手順書を作成しています。
各部署にて、年1回緊急事態の訓練を行い、記録を保管しています。
- 次年度も継続実施予定です。

8) 6S活動によるきれいで快適な職場環境づくり

工場を部門毎に11区分に分け、活動結果を半期ごとに評価・表彰しています。
次年度も継続実施予定です。

9) 支店、営業所の活動

電力削減に関しては、昼休み及び不要時の消灯、夏季にはクールビズを推奨(“サマーエコスタイル運動 “のポスター掲示含む)し、従業員に周知徹底しています。
廃棄物に関しては、缶、ビン、ペットボトル等の分別収集を実施しています。
また、コピー用紙は使用枚数を記録管理しています。次年度も継続実施予定です。

【Ⅵ】環境関連法規制等の遵守状況

1) 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守状況
大気汚染防止法	届出施設の排ガス基準値、 施設に関する届出	遵守
水質汚濁防止法	工場排水の基準値、施設に関する届出	遵守
瀬戸内海環境保全特別措置法	工場排水の基準値、施設に関する届出	遵守
特定工場に置ける公害防止組織の整備に関する法	公害防止管理者の変更時届出等	遵守
廃棄物処理法	廃棄物の適正保管、排出、届出	遵守
PRTR 法	化学物質の適正管理、定期報告	遵守
PCB 特別措置法	微量 PCB 廃棄物の適正保管、定期報告	遵守
浄化槽法	浄化槽の適正管理、法定検査等	遵守
エネルギー使用の合理化に関する法律	省エネ推進、定期報告	遵守
地球温暖化対策の推進に関する法律	温室効果ガスの排出抑制、定期報告	遵守
工場立地法	緑地面積の管理等	遵守
消防法（危険物）	一般取扱所、屋内貯蔵所等の適正管理、 消防計画の実施等	遵守
建築基準法	建築物の適正管理	遵守
労働安全衛生法	作業環境管理	遵守
土壌汚染対策法	有害物質使用施設の管理	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検、記録の保管	遵守
グリーン購入法	環境物品等の購入	遵守
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物の適正保管	遵守
下水道法	炊事場等からの排水管理	遵守
資源有効利用促進法	3R（リデュース、リユース、リサイクル）	遵守
家電リサイクル法	家電製品の適正廃却	遵守
建築物環境性能評価制度（兵庫県条例）	床面積が 2,000 m ² を超える新築、増築、 改築時の届出	非該当
特定物質排出抑制計画（兵庫県条例）	省エネ推進、定期報告	遵守
ひょうごの環境温暖化防止特定事業届出制度（兵庫県条例）	原油換算 1,500 kl／年以上の工場棟の 新築・増設時	非該当

2) 法の遵守状況は定期評価の結果、環境法規等の逸脱はありませんでした。

3) 関係当局からの違反等の指摘及び訴訟はありませんでした。

【Ⅶ】代表者による全体評価と見直し・指示

2007年に認証・登録し、取得以来16年間活動を継続して来ました。この間、一貫して環境方針に基づいた活動を展開しており、中でも環境関連法規の遵守を第一に取り組んでおります。2022年度には、水質汚濁防止法、瀬戸内海環境保全特別措置法における排水基準値を超過する事象を発生させてしまいましたが、設備管理体制を強化し、再発防止に努めた結果、2023年度は、法令違反は発生しませんでした。

今後については、2017年版ガイドラインに沿って作成した環境経営方針に基づき、

- ① 環境関連法規等の遵守（法規の新規・改正への対応）
- ② 当社製品に関する環境配慮（主に梱包材の削減等）
- ③ 省エネ活動の推進
- ④ 水使用量、廃棄物排出量、化学物質使用量の削減
- ⑤ 6S活動による安全で快適な職場環境の構築
- ⑥ 品質レベルの向上
- ⑦ 歩留まり、生産性の向上
- ⑧ 経費縮減

等を収益改善活動の礎として、更なる活動の展開を推進します。

なお、実施体制、環境経営方針の変更はありません。

2024年5月27日

代表者 神鋼鋼線工業株式会社
尼崎事業所長 神保 鉄男

以上